

【第7期南幌町総合計画】
中学生・高校生等意識調査結果報告書
＜令和7年度実施＞

令和8年1月

目 次

1	調査概要.....	1
2	回答者の属性.....	2
3	南幌町への愛着・定住意思.....	4
4	南幌町の現状と将来.....	6
5	単純集計結果.....	17

1 調査概要

1.1 調査の趣旨

南幌町では、平成29年度に策定した「第6期南幌町総合計画」に基づき、各種施策を推進してきたが、10年間の計画期間が令和7年度までとなっており、これまでの取り組みを点検しながら、これからのまちづくりを方向づけていくため、「第7期南幌町総合計画」を策定する。

策定にあたり、南幌町の将来を担う世代の中学生・高校生などからご意見などをお聞かせいただき、より地域の実情と個性を反映した実効性のある総合計画策定の基礎資料とするため、本調査を実施する。

1.2 調査の実施

令和7年7月1日を基準日に、南幌町の13～18歳の町民305名を調査対象者とし、郵送による調査票の配布・回収、及びオンラインフォームによる回答を受け付けた。

調査期間は、令和7年8月29日～9月26日までとした。

1.3 回答状況

配布数305件に対し、有効回答188件が得られた（回答率：61.6%）。

1.4 留意事項

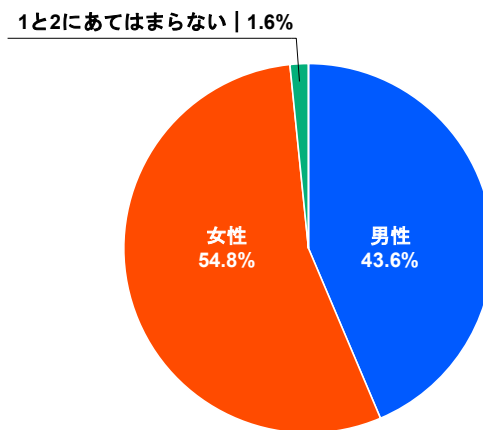
- ・調査結果の各設問の母数「N」は、設問に対する有効回答数を意味する。
- ・数値（%）は、小数点2位を四捨五入して算出している。したがって、単純回答形式の設問では、端数処理のため、合計は必ずしも100%にならない場合がある。また、複数回答形式の設問では、当該設問の回答者数を基数としているため、選択肢の数値の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。

2 回答者の属性

2.1 問1：性別は何ですか（単純回答）

「女性（54.8%）」が最も多く、「男性（43.6%）」、「1と2にあてはまらない（1.6%）」が続いている。令和7年1月時点の南幌町の総人口によれば、男性48.2%、女性51.8%となり、母集団と比較して大きな偏りはみられない。

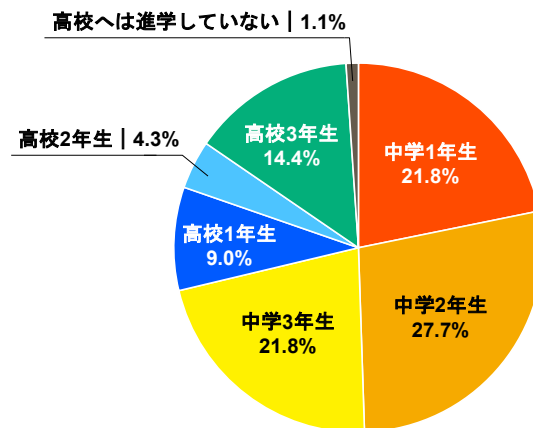
問1：性別は何ですか（N = 188）



2.2 問2：学年は何ですか（単純回答）

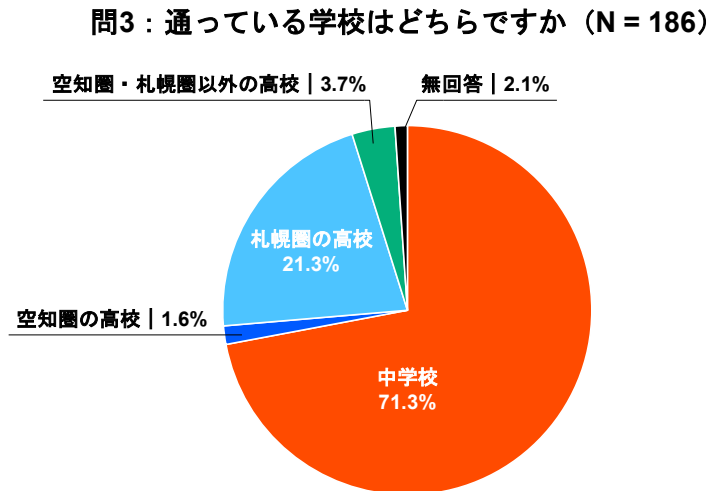
「中学2年生（27.7%）」が最も多い。「中学1年生（21.8%）」と「中学3年生（21.8%）」を合わせて、中学生が全体の約7割となる。また、高校生は全学年を合わせて約3割を占める。

問2：学年は何ですか（N = 188）



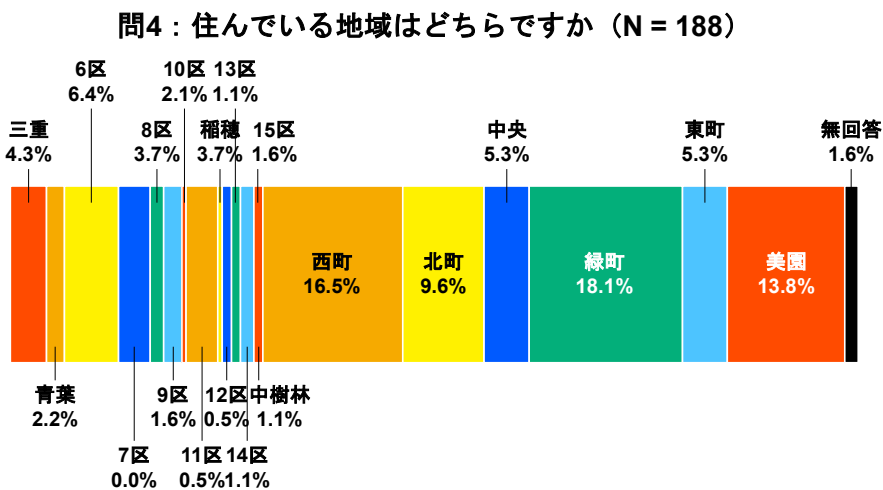
2.3 問3：（「中学生」または「高校生」と回答した方のみ）通っている学校はどちらですか（単純回答）

問2『学年』同様に、「中学校（71.3%）」が最も多い。「札幌圏の高校（21.3%）」が続き、札幌圏以外の高校も1割未満が存在する。



2.4 問4：住んでいる地域はどちらですか（単純回答）

上位3地域は「緑町（18.1%）」、「西町（16.5%）」、「美園（13.8%）」となる。市街地区¹の割合が高く、約8割を占めており、町全体の人口構成と類似した傾向となっている。



¹ 本調査では、6区・14区・15区・西町・北町・中央・緑町・東町・美園を「市街地区」、三重・青葉・7区・8区・9区・10区・11区・稲穂・12区・13区・中樹林を「農村等地区」と定義している。

3 南幌町への愛着・定住意思

3.1 問5：南幌町に愛着を感じていますか（単純回答）

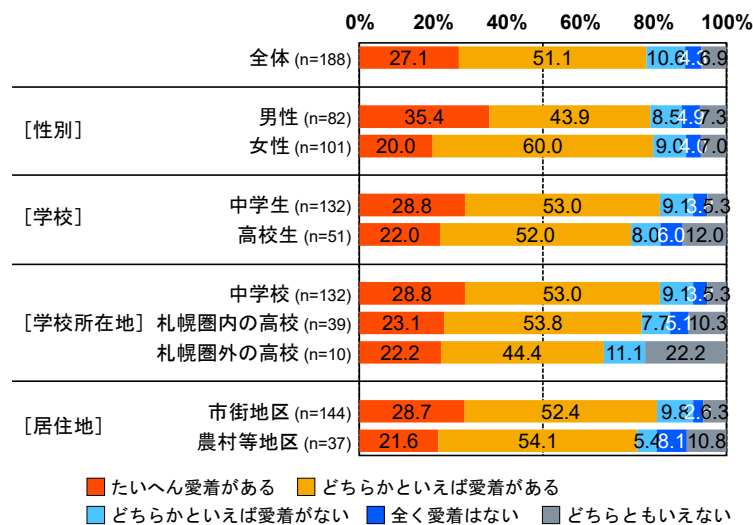
全体では、「どちらかといえば愛着がある（51.1%）」と「たいへん愛着がある（27.1%）」を合わせて、約8割が南幌町に愛着を示している。「全く愛着はない（4.3%）」は少数である。

性別では、男性は「たいへん愛着がある（35.4%）」の割合が女性（20.0%）に比べて高い。

学年別では、「たいへん愛着がある」は中学生（28.8%）が高校生（22.0%）より高く、中学生ほど愛着が強い傾向がみられる。一方で学校所在地別では、札幌圏内外の高校で大きな差はみられない。

居住地別では、市街地区は「たいへん愛着がある（28.7%）」が農村等地區（21.6%）に比べて高い。

問5：南幌町に愛着を感じていますか



3.2 問6：将来も南幌町に住み続けたいと思いますか（単純回答）

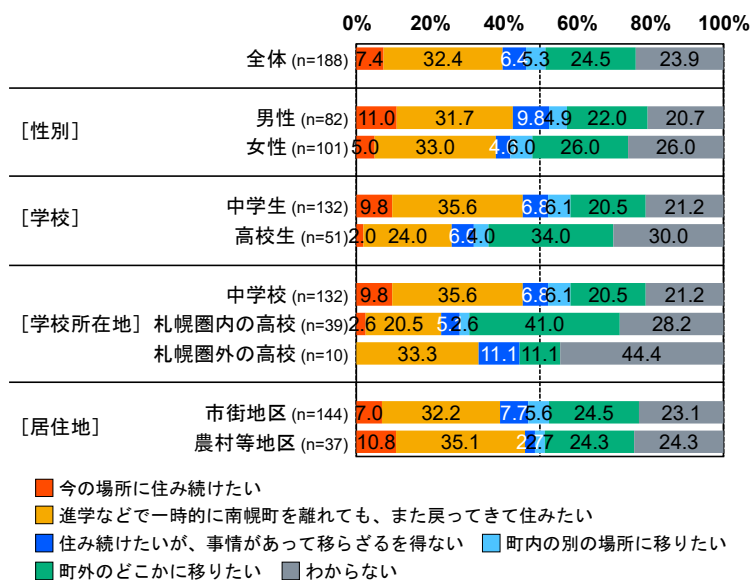
「進学などで一時的に南幌町を離れても、また戻ってきて住みたい（32.4%）」が最も多い。一方で、「町外のどこかに移りたい（24.5%）」、「わからない（23.9%）」を合わせると、定住意向が未定・ないが約半数を占める。

性別では、「町外のどこかに移りたい（26.0%）」、「わからない（26.0%）」の割合が多く、女性は男性に比べて定住意向が低い傾向がみられる。

学年別では、中学生は「進学などで一時的に南幌町を離れても、また戻ってきて住みたい（35.6%）」が高校生（24.0%）に比べて高く、学校所在地別では、札幌圏内の高校に通う高校生ほど「町外のどこかに移りたい（41.0%）」の割合が高い。

居住地別では、市街地区に比べて農村等地區は「今の場所に住み続けたい（10.8%）」、「進学などで一時的に南幌町を離れても、また戻ってきて住みたい（35.1%）」の割合がそれぞれ高く、定住意向がやや強い。

問6：将来も南幌町に住み続けたいと思いますか



4 南幌町の現状と将来

4.1 問7：南幌町の現状について、これまでに見たり、聞いたりしたことがあるものを教えてください（複数回答：該当するもの全て）

「最近、町外からの移住者が増加している（89.0%）」が9割程度あり、移住者の増加に対する認識が強い。「昔と比べて高齢者が増加している（37.4%）」も多く、人口減少の実態認識もみられる。その他には、「わからない（3件）」が最も多く含まれ、「人口増加率が日本一（1件）」もみられる。

性別では、女性（31.0%）に比べて男性（45.1%）が、学校所在地別では札幌圏外の高校（66.7%）が「昔と比べて高齢者が増加している」と認識している割合が高い。

性別・学年別・学校所在地・居住地別クロス集計結果（ヒートマップ）²

		昔と比べて子どもが減少している	昔と比べて高齢者が増加している	昔と比べて住民全体が減少している	最近、町外からの移住者が増加している	その他
全体		18.7	37.4	4.9	89.0	4.4
性別	男性	22.0	45.1	7.3	85.4	2.4
	女性	16.0	31.0	3.0	92.0	6.0
学年別	中学生	16.7	36.4	5.3	88.6	4.5
	高校生	24.0	40.0	4.0	90.0	4.0
学校所在地別	中学校	16.7	36.4	5.3	88.6	4.5
	札幌圏内の高校	23.1	30.8	2.6	89.7	5.1
	札幌圏外の高校	11.1	66.7	11.1	88.9	0.0
居住地別	市街地区	16.8	36.4	4.9	88.1	3.5
	農村等地区	24.3	40.5	5.4	91.9	8.1

² クロス集計結果は、回答割合の大小を視覚的に把握しやすくするため、ヒートマップにより表示している。色分けは全ての表で共通の基準を用い、回答割合が60%以上の項目を濃い赤色、40～59%を赤色、20～39%を黄色、20%未満を淡青色で示している。なお、本表示は回答傾向を把握するための補助的な手法であり、詳細な評価にあたっては併記している数値を参照する必要がある。

4.2 問 8：10～20 年後の将来に、南幌町がどうなっているか想像したり、考えたりしたことはありますか（単純回答）

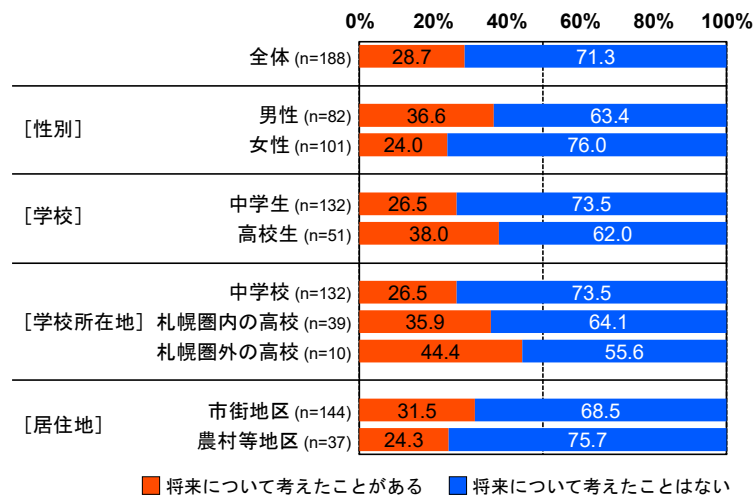
「ある（28.7%）」よりも「ない（71.3%）」が大半を占める。将来の南幌町の姿について考える機会が少ないことがわかる。

性別では、男性は「将来について考えたことがある（36.6%）」が女性（24.0%）より高い。

学年別では、高校生ほど「将来について考えたことがある（38.0%）」が中学生（26.5%）より高く、高校生の方が将来像を考える経験が多い。また、学校所在地別では、札幌圏外の高校ほど「将来について考えたことがある（44.4%）」経験が多い。

居住地別では、市街地区は「将来について考えたことがある（31.5%）」が農村等地區（24.3%）より高い。

問8：10～20年後の将来に、南幌町がどうなっているか想像したり考えたりしたことはありますか



4.3 問9：南幌町が今後どのようなまちを目指し、どのような取組みを進めていくかについて関心がありますか（単純回答）

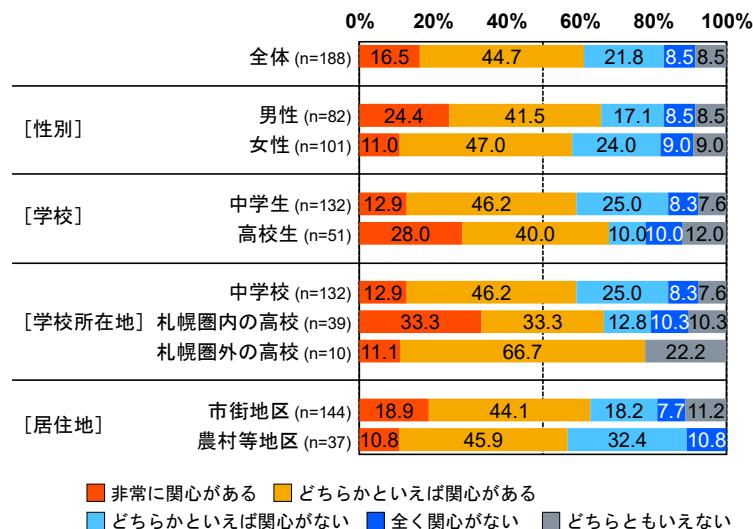
「どちらかといえば関心がある（44.7%）」と「非常に関心がある（16.5%）」を含めて約6割が一定の関心を示している。「全く関心がない（8.5%）」は少数であり、まちづくりへの潜在的関心があることが示唆される。

性別では、男性は「非常に関心がある（24.4%）」が女性（11.0%）より高く、女性では「どちらかといえば関心がある（47.0%）」が多い。

学年別では、高校生は「非常に関心がある（28.0%）」が中学生（12.9%）より高く、まちづくりへの問題意識が相対的に強い。また、学校所在地別では、札幌圏内の高校ほど「非常に関心がある（33.3%）」の割合が高い。

居住地別では、市街地区の方が「非常に関心がある（18.9%）」と「どちらかといえば関心がある（44.1%）」の合計が高く、農村等地区に比べてまちづくりへの関心がやや高い。

問9：南幌町が今後どのようなまちを目指し、どのような取組みを進めていくかについて関心がありますか



4.4 問10：将来どのような職業に就きたいと考えていますか（単純回答）

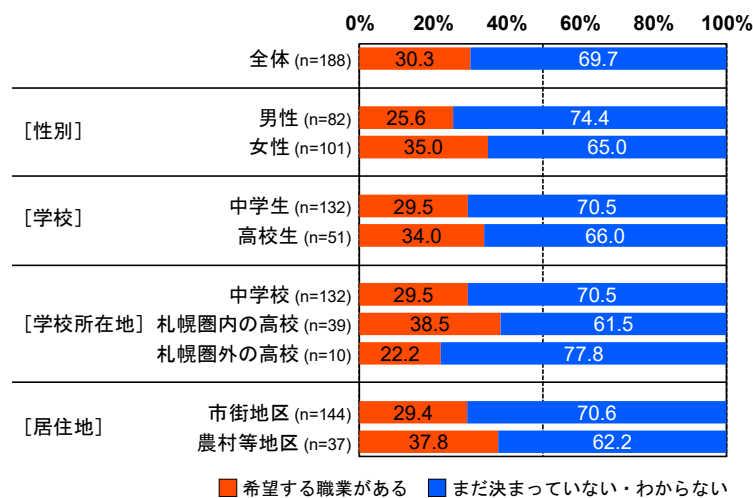
「希望する職業がある（30.3%）」は約3割となる。「まだ決まっていない・わからない（69.7%）」が多数を占める。

性別では、女性は「希望する職業がある（35.0%）」が男性（25.6%）より高い。

学校別では、「希望する職業がある」は、高校生（34.0%）が中学生（29.5%）に比べてやや高い。高校生の中では、札幌圏内の高校（38.5%）の方が札幌圏外の高校（22.2%）に比べて将来の職業が確定している割合が高い。

居住地別では、農村等地区は「希望する職業がある（37.8%）」が市街地区（29.4%）に比べて高い。

問10：将来どのような職業に就きたいと考えていますか



4.5 問 11：興味のある会社・職業が南幌町内で見つかる場合、南幌町内で働きたいと思いませんか（単純回答）

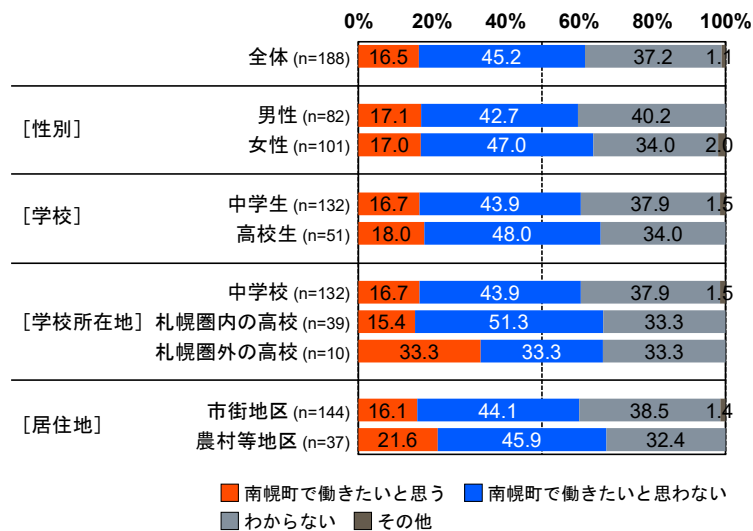
「南幌町で働きたいと思う（16.5%）」は、少数となる。「南幌町で働きたいと思わない（45.2%）」が最も多く、「わからない（37.2%）」を含めると、8割以上が町内を就職先として認識していないとみられる。

「南幌町内で働きたいと思う」の割合は男性（17.1%）、女性（17.0%）とほぼ同程度であり、性別による差はほとんどみられない。性別同様に、中学生（16.7%）と高校生（18.0%）もほぼ同程度となり、学校による違いもみられない。

学校所在地別では、札幌圏外の高校は「南幌町で働きたいと思う（33.3%）」の割合が中学校（16.7%）や札幌圏内の高校（15.4%）に比べて高い。

居住地別では、農村等地区は「南幌町で働きたいと思う（21.6%）」の割合が高く、また「わからない（32.4%）」が低いことから、市街地区に比べて町内での就職意向は高い。

問11：興味のある会社・職業が南幌町内で見つかる場合
南幌町内で働きたいと思いませんか



4.6 問 12：20年後の将来にどのような南幌町になってほしいと思いますか（複数回答：5つまで）

「農業・農村が元気なまち（49.5%）」が最も多く、次いで「無駄をなくして町のお金をうまく使うまち（39.9%）」、「地域で子育て・教育を支えるまち（38.8%）」、「誰でも使いやすい便利な交通環境のまち（37.2%）」、「住民と協力してまちづくりを進めるまち（36.7%）」が続いている。地域の強みである農業振興を維持しながら、上位項目には、生活利便性の向上、子育て支援、交通環境整備など、若年層が将来の暮らしやすさを意識して重視する内容が多く含まれている。

学年別では、中学生（30.3%）に比べて高校生（56.0%）の方が「誰でも使いやすい便利な交通環境のまち」の割合が高い。町内に高校が存在しないため、高校生は町外の高校へ通学しており、日常生活圏の広がりから公共交通の利用機会が急増しているためと考えられる。

居住地別では、農村等地区は「農業・農村が元気なまち（64.9%）」の割合が高く、生産現場が身近にあることなどが理由と考えられる。

性別・学年別・学校所在地・居住地別クロス集計結果（ヒートマップ）³

		住民と協力してまちづくりを進めるまち	無駄をなくして町のお金をうまく使うまち	地域同士で協力して課題を解決するまち	農業・農村が元気なまち	地域に合う仕事や産業が盛んなまち	交流とにぎわいのあふれる商店街のまち	地域で子育て・教育を支えるまち	地域資源を活用した特色ある学びができるまち	子どもから大人まで誰もが学べるまち	スポーツやレクリエーションを楽しむまち	地域の歴史や文化を大切にするまち	病院や救急など医療の体制が整ったまち	病気を防ぎ元気に暮らせるまち	みんながいきいきと暮らせるまち	自然を大切にしたい快適で災害に強いまち	ごみを減らしリサイクルを進めるまち	災害や犯罪に強い安全・安心なまち	誰でも使いやすい便利な交通環境のまち	人と人との出会いが生まれるまち	地域の良さを活かした観光と交流のまち	その他
全体		37.9	39.6	12.1	50.5	16.5	32.4	38.5	4.4	19.2	22.5	8.2	30.8	9.9	23.1	20.9	9.9	25.8	37.4	13.7	13.7	1.6
性別	男性	36.6	46.3	12.2	47.6	17.1	30.5	35.4	7.3	18.3	31.7	3.7	26.8	8.5	20.7	20.7	12.2	20.7	40.2	14.6	14.6	2.4
	女性	39.0	34.0	12.0	53.0	16.0	34.0	41.0	2.0	20.0	15.0	12.0	34.0	11.0	25.0	21.0	8.0	30.0	35.0	13.0	13.0	1.0
学年別	中学生	40.9	40.2	11.4	57.6	18.2	33.3	43.2	3.0	22.7	21.2	9.1	28.0	12.1	21.2	19.7	12.1	22.7	30.3	10.6	13.6	0.8
	高校生	30.0	38.0	14.0	32.0	12.0	30.0	26.0	8.0	10.0	26.0	6.0	38.0	4.0	28.0	24.0	4.0	34.0	56.0	22.0	14.0	4.0
学校所在地別	中学校	40.9	40.2	11.4	57.6	18.2	33.3	43.2	3.0	22.7	21.2	9.1	28.0	12.1	21.2	19.7	12.1	22.7	30.3	10.6	13.6	0.8
	札幌圏内の高校	28.2	38.5	15.4	35.9	10.3	33.3	33.3	7.7	10.3	23.1	7.7	35.9	5.1	25.6	25.6	5.1	35.9	51.3	23.1	12.8	5.1
	札幌圏外の高校	44.4	33.3	11.1	22.2	11.1	22.2	0.0	11.1	11.1	44.4	0.0	44.4	0.0	44.4	11.1	0.0	22.2	66.7	22.2	22.2	0.0
居住地別	市街地区	41.3	39.2	14.7	47.6	17.5	32.9	39.9	4.9	21.0	20.3	7.0	29.4	11.2	22.4	22.4	8.4	28.0	37.1	12.6	14.0	1.4
	農村等地区	27.0	37.8	2.7	64.9	10.8	29.7	35.1	2.7	13.5	32.4	10.8	35.1	5.4	27.0	13.5	16.2	13.5	37.8	18.9	13.5	2.7

³ クロス集計結果は、回答割合の大小を視覚的に把握しやすくするため、ヒートマップにより表示している。色分けは全ての表で共通の基準を用い、回答割合が60%以上の項目を濃い赤色、40～59%を赤色、20～39%を黄色、20%未満を淡青色で示している。なお、本表示は回答傾向を把握するための補助的な手法であり、詳細な評価にあたっては併記している数値を参照する必要がある。

**4.7 問 13-1：あなたや家族が南幌町に住み続ける場合、生活の中で重要と思うことは何ですか
(複数回答：3つまで)**

「医療機関・福祉施設の充実 (44.7%)」、「買い物や娯楽の充実 (43.6%)」が上位であり、「自然の豊かさ (27.1%)」、「交通利便性 (31.4%)」も一定の割合を占めている。生活基盤と利便性の確保を重視しており、医療・商業・交通などの基盤強化が将来の定住促進につながると考えられる。

問12『将来なっしてほしいまちの姿』同様に、中学生 (22.7%) に比べて高校生 (56.0%) の方が「交通の利便性が良い」の割合が高い。

居住地別では、市街地区の方が「医療機関や福祉施設が充実している (46.2%)」、「買い物しやすく、娯楽施設が充実している (45.5%)」の割合が高く、農村等地区に比べて生活基盤を重視する傾向がある。

性別・学年別・学校所在地・居住地別クロス集計結果（ヒートマップ）⁴

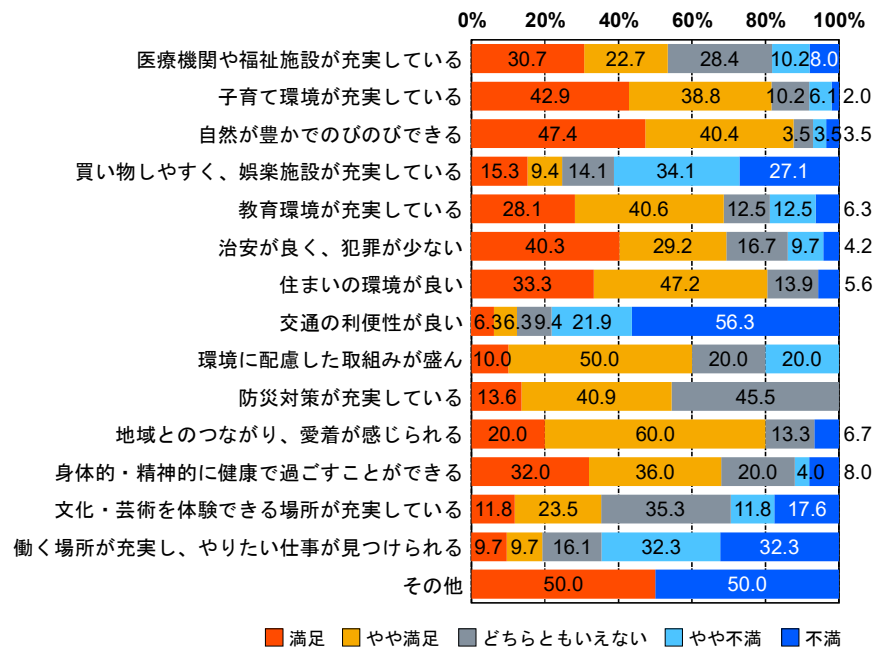
		医療機 関や福 祉施設 が充実 してい る	子育て 環境が 充実し ている	自然が 豊かで のびの びでき る	買い物 しやす く、娯 楽施設 が充実 してい る	教育環 境が充 実して いる	治安が 良く、 犯罪が 少ない	住まい の環境 が良い	交通の 利便性 が良い	環境に 配慮し た取組 みが盛 ん	防災対 策が充 実して いる	地域と のつな がり、 愛着が 感じら れる	身 体 的・精 神的に 健康で 過ごす ことが できる	文化・ 芸術を 体験で きる場 所が充 実して いる	働く場 所が充 実し、 やりたい 仕事 が見つ けられ る	その他
全体		44.5	24.7	26.9	43.4	14.8	35.7	15.9	31.9	2.2	11.5	4.4	10.4	5.5	13.7	1.1
性別	男性	46.3	31.7	24.4	48.8	12.2	31.7	17.1	29.3	2.4	4.9	3.7	6.1	7.3	11.0	2.4
	女性	43.0	19.0	29.0	39.0	17.0	39.0	15.0	34.0	2.0	17.0	5.0	14.0	4.0	16.0	0.0
学年別	中学生	47.7	27.3	28.8	43.2	17.4	35.6	20.5	22.7	2.3	14.4	4.5	9.8	6.8	13.6	0.8
	高校生	36.0	18.0	22.0	44.0	8.0	36.0	4.0	56.0	2.0	4.0	4.0	12.0	2.0	14.0	2.0
学 校 所 在 地 別	中学校	47.7	27.3	28.8	43.2	17.4	35.6	20.5	22.7	2.3	14.4	4.5	9.8	6.8	13.6	0.8
	札幌圏内の高校	35.9	20.5	17.9	41.0	7.7	41.0	5.1	59.0	2.6	5.1	5.1	12.8	2.6	10.3	2.6
	札幌圏外の高校	33.3	11.1	44.4	66.7	11.1	11.1	0.0	44.4	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	33.3	0.0
居 住 地 別	市街地区	46.2	26.6	27.3	45.5	14.7	34.3	14.7	32.2	2.8	9.8	4.2	11.9	4.9	13.3	0.7
	農村等地区	37.8	18.9	27.0	35.1	16.2	37.8	21.6	27.0	0.0	18.9	5.4	5.4	8.1	16.2	2.7

⁴ クロス集計結果は、回答割合の大小を視覚的に把握しやすくするため、ヒートマップにより表示している。色分けは全ての表で共通の基準を用い、回答割合が 60%以上の項目を濃い赤色、40～59%を赤色、20～39%を黄色、20%未満を淡青色で示している。なお、本表示は回答傾向を把握するための補助的な手法であり、詳細な評価にあたっては併記している数値を参照する必要がある。

4.8 問 13-2：重要だと思うことについて、現在の南幌町の満足度は何ですか（単純回答）

買い物・娯楽は「不満（27.1%）」と「やや不満（34.1%）」を合わせて6割以上、交通は「不満（56.3%）」と「やや不満（21.9%）」が約8割となり、生活利便性に関する課題が大きい。一方、医療機関・福祉施設は「満足（30.7%）」、「やや満足（22.7%）」が過半数を占め、治安・子育て・住環境も比較的高い満足度が示されている。交通環境は町内の路線バスの便数が少ないなど、日常生活・進学時の影響が大きい課題である。一方で、治安や子育て・住環境は、南幌町の強みとして認識されている。

問13-2：現在の南幌町の満足度は何ですか（N = 188）



4.9 問 14：もし南幌町長だったら、南幌町長のまちづくりについてぜひやってみたいことを自由に記入してください

有効回答125件のうち、「生活環境分野（67.7%）」の改善を求める提案が最も多く、約7割を占める。「産業経済分野（16.1%）」が次ぎ、「教育・分野分野（13.7%）」、「行財政分野（1.6%）」、「保健福祉・医療分野（0.8%）」となる。

<生活環境分野に関する代表意見（※2件以上得られた意見を抜粋）>

- ・バス運行の改善（便数増・最終便の延長）（15件）
- ・遊べる娯楽施設・滞在施設の整備（12件）
- ・ジム・トレーニング施設の整備（8件）
- ・ショッピング施設の誘致（7件）
- ・高校生の通学支援としてのスクールバス導入（6件）
- ・道路・交通インフラの整備（6件）
- ・住民が暮らしやすい地域環境づくり（4件）
- ・動物と触れ合える施設の整備（3件）
- ・自然や公園の整備（2件）
- ・ごみ分別・環境保全の改善（2件）

<産業経済分野に関する代表意見（※2件以上得られた意見を抜粋）>

- ・イベントの充実（8件）
- ・飲食店・商業の活性化（5件）
- ・観光につながる施設整備（4件）
- ・企業誘致による働く場所の確保（3件）

<教育・文化分野に関する代表意見（※2件以上得られた意見を抜粋）>

- ・学校施設の改善（エアコン設置・老朽箇所修繕）（6件）
- ・高校・大学など進学先の町内設置（5件）
- ・中学校の設備改善（3件）
- ・スポーツ大会や文化活動の充実（3件）

<行財政分野に関する意見（※全意見を記載）>

- ・地域交流を促す学校の統合利用
- ・無駄を減らし効率的な行政運営の推進

<保健福祉・医療分野に関する意見（※全意見を記載）>

- ・医療体制の改善

5 単純集計結果

問 1. 性別（単純回答）

No	カテゴリ	回答数	(全体)%	(除不)%
1	男性	82	43.6	43.6
2	女性	103	54.8	54.8
3	1と2にあてはまらない	3	1.6	1.6
	無回答	0	0.0	
	計	188	100	188

問 2. 学年（単純回答）

No	カテゴリ	回答数	(全体)%	(除不)%
1	中学1年生	41	21.8	21.8
2	中学2年生	52	27.7	27.7
3	中学3年生	41	21.8	21.8
4	高校1年生	17	9.0	9.0
5	高校2年生	8	4.3	4.3
6	高校3年生	27	14.4	14.4
7	高校へは進学していない	2	1.1	1.1
	無回答	0	0.0	
	計	188	100	188

問 3. 学校（単純回答）

No	カテゴリ	回答数	(全体)%	(除不)%
1	中学校	134	71.3	72.8
2	高校（空知圏：岩見沢市、長沼町、栗山町 など）	3	1.6	1.6
3	高校（札幌圏：札幌市、江別市、北広島市 など）	40	21.3	21.7
4	高校（空知圏・札幌圏以外）	7	3.7	3.8
	無回答	2	2.1	
	計	186	100	184

問 4. 居住地（単純回答）

No	カテゴリ	回答数	(全体)%	(除不)%
1	三重	8	4.3	4.3
2	青葉	4	2.1	2.2
3	6区	12	6.4	6.5
4	7区	0	0.0	0.0
5	8区	7	3.7	3.8
6	9区	3	1.6	1.6
7	10区	4	2.1	2.2
8	11区	1	0.5	0.5
9	稲穂	7	3.7	3.8
10	12区	1	0.5	0.5
11	13区	2	1.1	1.1
12	14区	2	1.1	1.1
13	15区	3	1.6	1.6
14	中樹林	2	1.1	1.1
15	西町	31	16.5	16.7
16	北町	18	9.6	9.7
17	中央	10	5.3	5.4
18	緑町	34	18.1	18.3
19	東町	11	5.9	5.9
20	美園	26	13.8	14.0
	無回答	2	1.1	
	計	188	100	186

問 5. 地域への愛着（単純回答）

No	カテゴリ	回答数	(全体)%	(除不)%
1	たいへん愛着がある	51	27.1	27.1
2	どちらかといえば愛着がある	96	51.1	51.1
3	どちらかといえば愛着はない	20	10.6	10.6
4	全く愛着はない	8	4.3	4.3
5	どちらともいえない	13	6.9	6.9
	無回答	0	0.0	
	計	188	100	188

問 6. 定住意向（単純回答）

No	カテゴリ	回答数	(全体)%	(除不)%
1	今の場所に住み続けたい	14	7.4	7.4
2	進学などで一時的に南幌町を離れても、また戻ってきて住みたい	61	32.4	32.4
3	住み続けたいが、事情があつて移らざるを得ない	12	6.4	6.4
4	町内の別の場所に住みたい	10	5.3	5.3
5	町外のどこかに移りたい	46	24.5	24.5
6	わからない	45	23.9	23.9
	無回答	0	0.0	
	計	188	100	188

問 7. 現状認識（複数回答）

No	カテゴリ	回答数	(全体)%	(除不)%
1	昔と比べて子どもが減少している	35	18.6	18.6
2	昔と比べて高齢者が増加している	69	36.7	36.7
3	昔と比べて住民全体が減少している	10	5.3	5.3
4	最近、町外からの移住者が増加している	168	89.4	88.8
5	その他	9	4.8	4.8
	無回答	0	0.0	
	計	188	100	188

問 8. 将来像（単純回答）

No	カテゴリ	回答数	(全体)%	(除不)%
1	ある	54	28.7	28.7
2	ない	134	71.3	71.3
	無回答	0	0.0	
	計	188	100	188

問 9. まちづくりへの関心（単純回答）

No	カテゴリ	回答数	(全体)%	(除不)%
1	非常に関心がある	31	16.5	16.5
2	どちらかといえば関心がある	84	44.7	44.7
3	どちらかといえば関心はない	41	21.8	21.8
4	全く関心がない	16	8.5	8.5
5	どちらともいえない	16	8.5	8.5
	無回答	0	0.0	
	計	188	100	188

問 10. 将来なりたい職業（単純回答）

No	カテゴリ	回答数	(全体)%	(除不)%
1	希望の職業がある	57	30.3	30.3
2	まだ決まっていない・わからない	131	69.7	69.7
3	その他	0	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	
	計	188	100	188

問 11. 町内での就職意向（単純回答）

No	カテゴリ	回答数	(全体)%	(除不)%
1	南幌町内で働きたいと思う	31	16.5	16.5
2	南幌町内で働きたいと思わない	85	45.2	45.2
3	わからない	70	37.2	37.2
4	その他	2	1.1	1.1
	無回答	0	0.0	
	計	188	100	188

問 12. 将来なっしてほしいまちの姿（複数回答：5つまで）

No	カテゴリ	回答数	(全体)%	(除不)%
1	住民と協力してまちづくりを進めるまち	69	36.7	36.7
2	無駄をなくして町のお金をうまく使うまち	75	39.9	39.9
3	地域同士で協力して課題を解決するまち	22	11.7	11.7
4	農業・農村が元気なまち	93	49.5	49.5
5	地域に合う仕事や産業が盛んなまち	30	16.0	16.0
6	交流とにぎわいのある商店街のまち	62	33.0	33.0
7	地域で子育て・教育を支えるまち	73	38.8	38.8
8	地域資源を活用した特色ある学びができるまち	8	4.3	4.3
9	子どもから大人まで誰もが学べるまち	38	20.2	20.2
10	スポーツやレクリエーションを楽しめるまち	42	22.3	22.3
11	地域の歴史や文化を大切にするまち	16	8.5	8.5
12	病院や救急など医療の体制が整ったまち	58	30.9	30.9
13	病気を防ぎ元気に暮らせるまち	18	9.6	9.6
14	みんながいいきと暮らせるまち	43	22.9	22.9
15	自然を大切にしたい快適で災害に強いまち	40	21.3	21.3
16	ごみを減らしリサイクルを進めるまち	19	10.1	10.1
17	災害や犯罪に強い安全・安心なまち	52	27.7	27.7
18	誰でも使いやすい便利な交通環境のまち	70	37.2	37.2
19	人と人との出会いが生まれるまち	25	13.3	13.3
20	地域の良さを活かした観光と交流のまち	25	13.3	13.3
21	その他	3	1.6	1.6
	無回答	0	0.0	
	計	188	100	188

問 13. 住み続ける場合、生活の中で重要と思うこと（複数回答：3つまで）

No	カテゴリ	回答数	(全体)%	(除不)%
1	医療機関や福祉施設が充実している	84	44.7	46.2
2	子育て環境が充実している	46	24.5	25.3
3	自然が豊かでのびのびできる	51	27.1	28.0
4	買い物やすく、娯楽施設が充実している	82	43.6	45.1
5	教育環境が充実している	27	14.4	14.8
6	治安が良く、犯罪が少ない	67	35.6	36.8
7	住まいの環境が良い	30	16.0	16.5
8	交通の利便性が良い	59	31.4	32.4
9	環境に配慮した取組みが盛ん	4	2.1	2.2
10	防災対策が充実している	21	11.2	11.5
11	地域とのつながり、愛着が感じられる	9	4.8	4.9
12	身体的・精神的に健康で過ごすことができる	19	10.1	10.4
13	文化・芸術を体験できる場所が充実している	11	5.9	6.0
14	働く場所が充実し、やりたい仕事が見つげられる	25	13.3	13.7
15	その他	2	1.1	1.1
	無回答	6	3.2	
	計	188	100	182

問 13-1. 医療機関や福祉施設が充実している（単純回答）

No	カテゴリ	回答数	(全体)%	(除不)%
1	不満	7	8.0	8.0
2	やや不満	9	10.2	10.2
3	どちらともいえない	25	28.4	28.4
4	やや満足	20	22.7	22.7
5	満足	27	30.7	30.7
	無回答	0	0.0	
	計	88	100	88

問 13-2. 子育て環境が充実している（単純回答）

No	カテゴリ	回答数	(全体)%	(除不)%
1	不満	1	2.0	2.0
2	やや不満	3	6.1	6.1
3	どちらともいえない	5	10.2	10.2
4	やや満足	19	38.8	38.8
5	満足	21	42.9	42.9
	無回答	0	0.0	
	計	49	100	49

問 13-3. 自然が豊かでのびのびできる（単純回答）

No	カテゴリ	回答数	(全体)%	(除不)%
1	不満	2	3.5	3.5
2	やや不満	2	3.5	3.5
3	どちらともいえない	3	5.3	5.3
4	やや満足	23	40.4	40.4
5	満足	27	47.4	47.4
	無回答	0	0.0	
	計	57	100	57

問 13-4. 買い物しやすく、娯楽施設が充実している（単純回答）

No	カテゴリ	回答数	(全体)%	(除不)%
1	不満	23	27.1	27.1
2	やや不満	29	34.1	34.1
3	どちらともいえない	12	14.1	14.1
4	やや満足	8	9.4	9.4
5	満足	13	15.3	15.3
	無回答	0	0.0	
	計	85	100	85

問 13-5. 教育環境が充実している（単純回答）

No	カテゴリ	回答数	(全体)%	(除不)%
1	不満	2	6.3	6.3
2	やや不満	4	12.5	12.5
3	どちらともいえない	4	12.5	12.5
4	やや満足	13	40.6	40.6
5	満足	9	28.1	28.1
	無回答	0	0.0	
	計	32	100	32

問 13-6. 治安が良く、犯罪が少ない（単純回答）

No	カテゴリ	回答数	(全体)%	(除不)%
1	不満	3	4.2	4.2
2	やや不満	7	9.7	9.7
3	どちらともいえない	12	16.7	16.7
4	やや満足	21	29.2	29.2
5	満足	29	40.3	40.3
	無回答	0	0.0	
	計	72	100	72

問 13-7. 住まいの環境が良い（単純回答）

No	カテゴリ	回答数	(全体)%	(除不)%
1	不満	2	5.6	5.6
2	やや不満	0	0.0	0.0
3	どちらともいえない	5	13.9	13.9
4	やや満足	17	47.2	47.2
5	満足	12	33.3	33.3
	無回答	0	0.0	
	計	36	100	36

問 13-8. 交通の利便性が良い（単純回答）

No	カテゴリ	回答数	(全体)%	(除不)%
1	不満	36	56.3	56.3
2	やや不満	14	21.9	21.9
3	どちらともいえない	6	9.4	9.4
4	やや満足	4	6.3	6.3
5	満足	4	6.3	6.3
	無回答	0	0.0	
	計	64	100	64

問 13-9. 環境に配慮した取組みが盛ん（単純回答）

No	カテゴリ	回答数	(全体)%	(除不)%
1	不満	0	0.0	0.0
2	やや不満	2	20.0	20.0
3	どちらともいえない	2	20.0	20.0
4	やや満足	5	50.0	50.0
5	満足	1	10.0	10.0
	無回答	0	0.0	
	計	10	100	10

問 13-10. 防災対策が充実している（単純回答）

No	カテゴリ	回答数	(全体)%	(除不)%
1	不満	0	0.0	0.0
2	やや不満	0	0.0	0.0
3	どちらともいえない	10	45.5	45.5
4	やや満足	9	40.9	40.9
5	満足	3	13.6	13.6
	無回答	0	0.0	
	計	21	100	21

問 13-11. 地域とのつながり、愛着が感じられる（単純回答）

No	カテゴリ	回答数	(全体)%	(除不)%
1	不満	1	6.7	6.7
2	やや不満	0	0.0	0.0
3	どちらともいえない	2	13.3	13.3
4	やや満足	9	60.0	60.0
5	満足	3	20.0	20.0
	無回答	0	0.0	
	計	15	100	15

問 13-12. 身体的・精神的に健康で過ごすことができる（単純回答）

No	カテゴリ	回答数	(全体)%	(除不)%
1	不満	2	8.0	8.0
2	やや不満	1	4.0	4.0
3	どちらともいえない	5	20.0	20.0
4	やや満足	9	36.0	36.0
5	満足	8	32.0	32.0
	無回答	0	0.0	
	計	25	100	25

問 13-13. 文化・芸術を体験できる場所が充実している（単純回答）

No	カテゴリ	回答数	(全体)%	(除不)%
1	不満	3	17.6	17.6
2	やや不満	2	11.8	11.8
3	どちらともいえない	6	35.3	35.3
4	やや満足	4	23.5	23.5
5	満足	2	11.8	11.8
	無回答	0	0.0	
	計	17	100	17

問 13-14. 働く場所が充実し、やりたい仕事が見つげられる（単純回答）

No	カテゴリ	回答数	(全体)%	(除不)%
1	不満	10	32.3	32.3
2	やや不満	10	32.3	32.3
3	どちらともいえない	5	16.1	16.1
4	やや満足	3	9.7	9.7
5	満足	3	9.7	9.7
	無回答	0	0.0	
	計	31	100	31

問 13-15. その他（単純回答）

No	カテゴリ	回答数	(全体)%	(除不)%
1	不満	1	50.0	50.0
2	やや不満	0	0.0	0.0
3	どちらともいえない	0	0.0	0.0
4	やや満足	0	0.0	0.0
5	満足	1	50.0	50.0
	無回答	0	0.0	
	計	2	100	2